

国際的視点から見える3.11と日本の原発

～福島から未来を考える～

福島第1原子力発電所の事故とその後の日本の対応を世界はどう見ているのか―

この事故により、私たちは原発の危険性を思い知っただけでなく、その「安全神話」を作り上げるために、いかに様々な情報が操作され、隠蔽されてきたかを知りました。このたび、環境ジャーナリストのアイリーン・美緒子・スミスさんをお招きし、海外の情報から見えてくる福島原発事故の実態やエネルギー問題についてお話を聞く機会をもつことになりました。経済至上主義で突き進んできた私たちの社会がこれから歩むべき道は？ほんとうの豊かさとは何か？

安心して暮らせる未来を子どもたちに手渡すために、より広いグローバルな視点から一緒に考えたいと思います。子育て中の方もぜひご参加ください。

日時：2012年10月13日（土） 午後2時～4時

場所：とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ ホール

講師：アイリーン・美緒子・スミスさん（環境ジャーナリスト）

<講師プロフィール> アイリーン・美緒子・スミスさん

環境ジャーナリスト。1950年東京生まれ。NGO「グリーン・アクション」代表。

71年、写真家ユージン・スミス氏と結婚後、水俣に住み、75年アメリカで写真集『MINAMATA』を出版。世界に水俣公害の悲劇を伝えた。80年、日本語版『水俣』（三一書房）出版。コロンビア大学で環境科学の修士号取得。以後、環境ジャーナリストとして公害や原子力・エネルギー問題などの取材・調査を行う。79年に起きたスリーマイル島の原発事故では、調査のために現地に居住し、住民へのインタビューを続けた。83年以降、福井県若狭湾の原発の安全問題に取り組み、原子力委員会の円卓会議等に招聘され提言を行うなど、活躍を続けている。京都在住。



参加費：500円（資料代含む・高校生以下無料） 定員：150名

主催：NPO法人 国際交流の会とよなか（TIFA）

問い合わせ・申し込み：TIFA事務局

電話・FAX 06-6840-1014 Eメール:tifa99@nifty.ne.jp

一時保育あり：10月6日（土）までに要予約（子ども一人につき525円）

協賛：財団法人 とよなか男女共同参画推進財団

後援：公益財団法人 とよなか国際交流協会



<TIFA セミナー> 世界で起こっている問題について知り、学び、身近な問題として考えるための講演会や学習会です